

# 共立女子大学・共立女子短期大学 教養教育科目「自己開発」 PBL 社会連携プログラム 2024 年度 南三陸町フィールドワーク 要項



共立女子大学・共立女子短期大学  
Kyoritsu Women's University & Junior College



宮城県 南三陸町  
MINAMISANRIKU TOWN



## PBL 社会連携プログラムとは

自治体、地域社会が抱える課題の解決策を、学部も学年も様々な学生チームが提案する実践的なプログラムです。学部・学年を超えて集う学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体・関係者へのヒアリングなどを通して解決策を見つけ出します。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

## ポイント！

- 南三陸町長との懇談、南三陸町の事業者、南三陸町で活躍されている女性の皆様に直接質問できる貴重な機会があります！
- 南三陸町の特産品を体験でき、国際認証を取得した南三陸町の海、里の活用例を地域の皆様から学ぶことができます！

## 1. 課題テーマ

### 南三陸町フィールドワークを通じて出会う、新しい自分

南三陸町でのさまざまな学び、体験を通じ、南三陸町の魅力を発見し、南三陸町の地域活性化に向けてより多くの方に魅力が伝わる体感メニューや、東京における実践企画を提案しよう

## 本プログラムの概要・目的

南三陸町の方が何を考えて活動をしていらっしゃるのか、また何が必要となるのか、について実際に体験することで、実感として学ぶプログラムです。南三陸町は、2011年3月11日に未曾有の体験が生じ、そこから環境先進の町として生まれ変わり、未来に向かって進んでいこうとしています。

南三陸町フィールドワークでは、「フィールドワークを通じて、地域振興を考えよう」をテーマに、南三陸町の各地を巡り、体験をすることで現地でしか見えない地元の取組みも学び課題も見つけ出します。

南三陸町が未来に向かって継続し活気ある地域であるために、各グループのワーク、東京（共立女子大学）で行う企画をまとめ、準備・実施し、自分たちの想いを伝えます。

## 到達目標

---

---

フィールドワークに先立ち、講義を通じて、地域の現状と施策、産業の実態などに関する基礎知識を身につける。そのうえで、現地のフィールドワークや課題解決型グループワークにより、地域の特性や魅力を理解し、さらに課題を発見したうえで、それを理解する力を身につける。

---

---

応募条件 共立女子大学・短期大学 2～4年次 GPA 2.0 以上（2024年3月末時点）

---

---

人数 共立女子大学・短期大学（最小）5名 （最大）8名程度

---

---

同プログラム担当同行 社会連携センター 大石裕理子（予定）

南三陸町フィールドワークサポート学生（南三陸町フィールドワーク 前年度参加の学生）

---

---

受講費用 37,000 円（東京⇄くりこま高原駅 往復新幹線は別途）

---

---

【受講費用に含まれるもの】南三陸町の宿泊費、朝食・昼食・夕食、現地プログラム体験費、保険費。

（但し、昼食代のうち、南三陸町最終日は別途実費となります）

・受講費用は、指定する期日（2024年7月予定）までに、指定の口座へお振込みいただきます（詳細は別途ご案内）。

【別途、下記の実費が必要】

・新幹線（東京⇄くりこま高原駅往復）東京駅発着参考価格 23,960 円。学生学割 乗車券 20%引き。（特急券は原価）

※大宮駅乗車・下車などで若干料金が異なります。

・南三陸町滞在時の最終日の昼食代。

---

---

申込（先着順ではありません。申込締切後、抽選のうえ受講確定となります）

---

---

申込期間 2024年4月4日（木）～6月11日（火）16時まで。

申込フォーム <https://forms.gle/8MX5Wf57rxpNLRm9> または右の QR コードより入力の上、お申込ください。



受講確定 締切後、受講確定についての連絡を各自へいたします。

---

---

## グループ分け

---

---

申込後、社会連携センターよりリーダー、副リーダーを指名します。また参加メンバー全員によるキックオフ、導入（南三陸町からの自治体の現状などレクチャー）後、グループワークで各自が考えた提案を発表後、メンバーによるグループ分け（2-3グループ前後）を行います。

## スケジュール 詳細は別紙

---

---

4～5月説明会・募集、6月キックオフ・オリエンテーション、7月に学内事前講義、10月南三陸町訪問、11月学内発表➡レポート

## キックオフ・オリエンテーション、事前講義・・・木曜 17時30分～19時10分 会場：共立女子大学

---

---

### □ 6月27日（木） 17時30分～19時10分

キックオフ・オリエンテーション（自己紹介、事前講義、動画視聴、フィールドワーク準備）

### □ 7月11日（木） 17時30分～19時10分

地方自治体の取組みを学ぶ

（南三陸町担当者より自治体の現状と施策自治体の社会や産業の実態を学び、地域社会の担い手として女性が果たす重要性を理解する。地域社会が直面する課題を多角的視点から理解し、かつ課題解決に向けて、学生自身が地域貢献活動に主体的に取り組むよう、学生の行動を促進できるものを目指す）

## 現地体験プログラム 3泊4日 10月13日（日）～16日（水） 訪問地：南三陸町

---

---

宿泊 1人1部屋になります。

---

---

詳細は別紙

- ※各日ごと、振り返りを行い、気付きを促す機会をとして、各グループ毎にグループワークを行う。（場所は滞在先研修室）

※最終日に、各グループの発表を行い、南三陸町からも講評をいただく。

※発表方法は模造紙への書き出し、パワポでの表示等、口頭でもプレゼン。一人ずつ、参加しての感想も伝える。

・南三陸町フェア内容を計画、南三陸町の特産品、お米等、自分たちの現地体験をいかし紹介。

□ 11月中旬（木）昼休み及び17時30分～19時10分 ※開催日程調整

フィールドワークを通じ、今回のテーマに向き合い、達成のためのプランについて、学内でプレゼンテーションを行う。

## 事後レポート提出

---

報告会終了後、2024年12月10日までに、①事後レポート ②報告書（パネル作成用）を大学・短大 社会連携センターへ提出する。②は各グループで作成する。

### ① 事後レポート（個人）

【体裁】：word ファイル、A4 タテ。

行数・文字数設定は、1行につき40行×40行

枚数：2ページ（多くて3ページ） 写真、画像の使用は2枚まで。

1ページ目の上部（冒頭）に下記を記載することを必須とする。

---

南三陸町フィールドワーク 事後レポート

課題：南三陸町の魅力を発見し伝え、南三陸町の交流人口の拡大に向け、多くの方にお越しいただける新しい賑わいを作り出す店頭企画、イベント企画、交流人口の増加を目指す取組みを提案しよう

学籍番号●●●●●● 氏名●●●●●● ●●学部 ●●学科 ●●専攻 or ●●コース ●年

自分なりの本プログラム取り組みにあたってのテーマ：●●●●●●●●

(レポート本文)

---

